

HOKKAIDO / TOHOKU / KANTO
KANSAI / NISHI-NIHON Series



TOYOTA
GAZOO
Racing

Netz
Cup Vitz Race

Netz

GOODYEAR

DENSO

AISIN

Racing Development
TRD

TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race

2018
REGULATIONS



TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2018 REGULATIONS

2018年4月発行

トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)事務局
〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225

2018 RACE SCHEDULE [大会開催日程]

開催日	開催サーキット	北海道 3戦	東北 3戦	関東 4戦	関西 4戦	西日本 3戦
	同時開催					
3/17(土)・18(日)	鈴鹿サーキット				①	
	鈴鹿クラブマンレース					
4/15(日)	ツインリンクもてぎ		①			
	もてぎチャンピオンカップ					
4/21(土)・22(日)	岡山国際サーキット				②	
	OKAYAMAチャレンジカップ					
5/3(木)・4(金)	富士スピードウェイ			①		
	SUPER GT					
5/13(日)	スポーツランドSUGO		②			
	SUGOチャンピオンカップ					
5/20(日)	十勝スピードウェイ	①				
	北海道クラブマンカップ					
5/27(日)	オートポリス					①
	ゴールドカップ					
6/10(日)	ツインリンクもてぎ			②		
	もてぎチャンピオンカップ					
6/17(日)	鈴鹿サーキット				③	
	鈴鹿クラブマンレース					
7/15(日)	オートポリス					②
	スーパー耐久					
7/21(土)・22(日)	富士スピードウェイ			③		
	ザ・ワンメイクレース祭り SUMMER					
8/19(日)	十勝スピードウェイ	②				
	北海道クラブマンカップ					
8/26(日)	スポーツランドSUGO		③			
	SUGOチャンピオンカップ					
9/30(日)	十勝スピードウェイ	③				
	北海道クラブマンカップ					
10/6(土)・7(日)	富士スピードウェイ			④		
	富士チャンピオンレース					
10/14(日)	岡山国際サーキット				④	
	OKAYAMAチャレンジカップ					
11/11(日)	オートポリス					③
	ゴールドカップ					
		特別戦				

★印は、86/BRZ Race併催。

※北海道シリーズ第3戦、東北シリーズ第3戦、西日本シリーズ第3戦は、決勝レースをダブルヘッダー開催します。

PRIZE [賞典]

2018 各大会賞典

名称	内容
ルーキー賞	2017年1月以降に初めて国内Aライセンスを取得し、各大会の最上位入賞を果たしたドライバーに授与
グッドイヤー賞	決勝グリッドが中間のドライバー(決勝グリッドが偶数台数の場合は下位)に授与
ベストパフォーマンス賞	決勝レースにおいて一番順位を上げたドライバーに授与
ウェルカム賞	Vitz Raceに初めて参加されたドライバーに授与
ネット・アナザー・ストーリー賞	Vitz Race参戦時のレースに賭けるこだわりを語ってくれたドライバーに授与

2018 シリーズ賞金 [各シリーズ共通]

※シリーズ入賞者には認定証が授与されます。

順位	金額
1位	200,000円
2位	150,000円
3位	100,000円
4位	50,000円
5位	50,000円
6位	50,000円
総額	600,000円

2018 シリーズ特別賞

名称	内容
ルーキー・オブ・ザ・イヤー賞 (各シリーズ1名)	<p>2017年1月以降に初めてJAF国内Aライセンスを取得したドライバーを対象に、各シリーズごとに毎戦、順位付けを行い、各シリーズの最多ポイント獲得ドライバーに授与。但し、1人1シリーズまでの受賞に限定。</p> <p>※2シリーズ以上で対象者が重複した場合、最多ポイント獲得シリーズを対象とし、その他シリーズは次順位のドライバー選出する。対象者の最終決定はT.R.A.が行うものとする。</p> <p>※尚、過去に受賞したドライバーは対象外とする。</p>

Netz Cup Vitz Race

CONTENTS

目次

大会開催日程・賞典

2~3

競技規定

4~13

車両規定

14~19

ポイントランキング

20~21

開催サーキット案内

中央共通ページ

TOYOTA GAZOO Racing 便覧

中央共通ページ

競技規定 2018

第1条 大会

「TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2018」(以下、「Vitz Race」)は、国際自動車連盟(以下、「FIA」)の2018年国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した、2018年一般社団法人日本自動車連盟(以下、「JAF」)国内競技規則・国内競技車両規則およびその付則、トヨタカーズ・レース・アソシエーション(以下、「T.R.A.」)が発行するVitz Race競技規定・車両規定、各大会特別規則書および各サーキット規定に従って開催される。

第2条 組織

「Vitz Race」はT.R.A.の主管により運営される。各大会オーガナイザーはJAF公認のもと、シリーズ名称を付したレースを組織、開催する。大会組織委員会、競技会審査委員会、競技役員は各大会の特別規則書にて公示される。

第3条 規則の熟知と遵守

- 参加者はレースの諸規則ならびに当該大会別に定められた諸規則を熟知し、これを遵守すると共に、各大会オーガナイザーおよび競技役員からの指示に従う義務を負うものとする。
- 参加者は秩序ある行動をとること。そして相互に、また競技役員を含む全ての関係者に対して攻撃的または侮辱的な言動をとる事は厳に慎まなければならない。暴言を発する行為や威嚇的な振る舞いを行い、この条項に違反した場合は訓戒から失格までの罰則が与えられる。

第4条 シリーズ構成

- 「Vitz Race」は、下記のシリーズで構成される。これに含まれない特別戦を開催する場合は別途、公示する。
北海道シリーズ／東北シリーズ／関東シリーズ／関西シリーズ／西日本シリーズ
- シリーズ各大会は、MT仕様車両／CVT仕様車両を同一クラスとした混走で開催されるが、CVT仕様車両を対象とした「CVTクラス」を追加設定する。

第5条 ドライバーの参加資格・装備品

- 参加資格
 - T.R.A.レーシングパスポートに登録されたT.R.A.認定ドライバー。
 - 日本の普通自動車以上の運転免許証、またはそれに相当する外国の免許証所有者。
 - 2018年に有効なJAF国内競技運転者許可証A以上の所持者。もしくはJAF以外のASN発給の同様ライセンス所持者。ただし、その場合は、FIA国際モータースポーツ競技規則に定められた海外レース出場申請が済んでいること。
- 装備品
JAF国内競技車両規則第4編「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従い、装備品を整えること。ただし、競技用ヘルメットについては四輪用のフルフェイスタイプの装着および耐火炎アンダーウェア、耐火炎ソックスについてはFIA基準8856-2000に合致したFIA認定品の着用を義務付ける。

第6条 参加車両

参加車両は、T.R.A.レーシングパスポートに登録・記載されたもので、別掲の車両規定に合致したものでなければならない。

第7条 保険

- 各大会の大会特別規則書の規定に従うこと。
- 各大会の大会特別規則書に規定が無い場合、ドライバーは900万円以上、チームクルーは400万円以上の有効な保険に加入していなければならない。

第8条 抗議権

- 抗議権は、競技参加者のみが有するものとする。
- 抗議は、JAFが規定する抗議料を添えて、「JAF国内競技規則12 抗議」に定められた手続きにて行わなければならない。
- 無根拠や邪意による抗議を行ったと判断された場合、抗議料の没収や罰則を課される場合がある。

第9条 罰則

- サーキットにおけるドライブ行為の規律
ドライバーはFIA国際競技規則付則I項第4章「サーキットにおけるドライブ行為の規律」、当該大会に有効な安全規定およびそれに準ずる規定を遵守しなければならない。当該大会競技役員からこの条項の違反行為と判断され、当該大会審査委員会より罰則(訓戒を含む)を科せられたドライバーは、T.R.A.により罰則内容が公示される。
①罰則内容が公示された1件ごとにT.R.A.が危険行為もしくは悪質な違反行為に該当すると判断した場合、下記ペナルティポイントが付与される。

違反内容	主な事例	点数
旗信号無視(複数周回)	Dボード無視/複数周回の旗無視	2点
他車への衝突行為	他車を巻き込む行為	1~2点
旗信号無視	黄旗区間/SC中の追越・スピン等	1点
走路外追越	走路外からの追越行為	
安全確認不足	コース外から復帰時安全確認不足	

- 累積ペナルティポイントは年度を跨いで累積されるが、最終ペナルティポイントが付与されてから1年間を経過すると全て削除される。
- 当該シリーズ1大会参加後、新規ペナルティポイント0点の場合、1点減算される。(0点以下はならない)
- 事例が重複する場合は、ポイントが合算される場合がある。
- ②ペナルティポイントは参戦したシリーズ毎に加算・減算され、その累積点数(加算時のみ)により当該シリーズ次回参加時に下記表によりペナルティが課される。

累積点数	罰則内容
各シリーズ3点	当該シリーズ次回参加時、3グリッド降格 or 1stタイム抹消
各シリーズ4点	当該シリーズ次回参加時、5グリッド降格 or 2ndタイムまで抹消
全シリーズ6点以上	厳罰(シリーズ参加拒否・登録抹消等)

- 次回参加大会の参加回数判明後、ペナルティ内容(グリッド降格orタイム抹消)を決定し、公示。
- 車両規定違反
ドライバーおよび参加者はVitz Race車両規定、該当するJAF国内競技車両規定および当該サーキットの車両規定を遵守しなければならない。当該大会競技役員からこの条項の違反行為と判断され、当該大会審査委員会より罰則(訓戒を含む)を科せられたドライバーは、T.R.A.により罰則内容が公示される。またT.R.A.が行う車両検査により、違反行為と判断した場合も罰則内容が公示される。罰則内容が公示された1件ごとにT.R.A.が悪質な違反行為に該当すると判断した場合、ドライバー、参加者、車両に対して、厳罰(シリーズポイント剥奪/T.R.A.レーシングパスポート登録抹消)が科せられる。
 - 特別戦に於いて罰則が科された場合の取り扱いに関しては、その罰則内容を考慮して、T.R.A.が決定して公示する。

第10条 T.R.A.管理スペース (次ページ図参照)

- T.R.A.管理スペースの提供
参加者はT.R.A.および協賛各社、当該オーガナイザーの為にT.R.A.管理スペースを提供しなければならない。
- T.R.A.指定ステッカーの貼付
T.R.A.指定ステッカーの貼付位置および角度は「T.R.A.指定ステッカー位置」参照図の通りとし、その他のステッカー等の貼付は認められない。なお、T.R.A.指定ステッカーの左右には十分な間隔を空けて貼付することとし、これに対する一切の加工は認められない。更にそれらの外観を毀損することも認められない。
- 特定広告の拒否
参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否される場合があることをあらかじめ承知していなければならない。

第11条 ゼッケン番号 (下図参照)

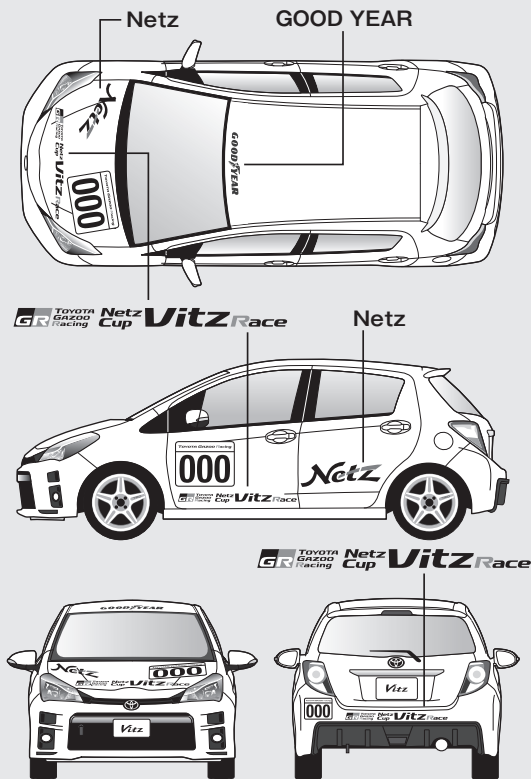
1. ゼッケン番号はT.R.A.レーシングパスポート申請に基づき、T.R.A.が決定する。また、ゼッケン番号は毎年更新されるものとし、前年度、使用ゼッケン番号の継続登録は、T.R.A.が定める優先登録期間内にT.R.A.レーシングパスポートの更新申請を行うこと。なお、期間内に更新されない場合やレース未参加の場合、そのゼッケン番号の優先登録権利は失われる。
2. ゼッケンおよびゼッケンベースはT.R.A.指定のものを使用し、「ゼッケンおよびゼッケンベース位置」参照図の通りに貼付しなくてはならず、その他の場所に貼付しないこと。また、すべての桁数において、ゼッケンはゼッケンベースの中央に配置すること。



3. 新規および登録変更をした参加者に配布するゼッケンおよびゼッケンベースは原則として1セットとする。それ以上の枚数が必要となった場合、T.R.A.にその旨申し出を行い、必要と認められた場合に限り配布される。
4. ゼッケン番号「1」はシリーズ戦以外のT.R.A.の指定した特別戦の優勝者が翌年度使用する権利を有し、その優勝者が権利行使した場合、本年度使用していたゼッケン番号の使用権利は翌年度も保持される。

参照図

- T.R.A.管理スペース
- T.R.A.指定ステッカー位置
- ゼッケンおよびゼッケンベース位置



第12条 T.R.A.レーシングパスポート

1. T.R.A.レーシングパスポートはT.R.A.指定の申請用紙に必要事項を記入の上、車検証、JAFドライバークラスのコピーを添えてT.R.A.に申請することにより、登録・発行される。
2. 参加者は、大会参加申込前までに、T.R.A.へ申請し登録を完了していること。
3. 参加する車両および封印エンジン、ドライバーはT.R.A.レーシングパスポートに記載されたものとする。
4. T.R.A.レーシングパスポートは、大会参加受付時に必ず提出しなければならない。返却は公道走行チェック時に行う。ただし、公道走行チェック不合格車両に関しては、返却はせず、その修理報告書が提出されるまで、T.R.A.により管理される。
5. 登録車両が、シリーズ各大会に初参加する場合は、「メンテナンスノート」、「車両保証書」およびT.R.A.レーシングパスポートに参加証明となる捺印を受けるものとする。
6. T.R.A.レーシングパスポートは毎年更新するものとし、T.R.A.が定める期間内に更新しなければならない。
7. 搭載する封印エンジンの変更、登録ドライバーの追加等が生じた場合、各種申請書により変更申請を行うこと。ただし、更新には数日掛かることを考慮しておくこと。
8. 紛失した場合は速やかにその旨をT.R.A.に連絡し、再発行の手続きを受けること。ただし、更新および再発行には数日掛かることを考慮しておくこと。紛失した場合は、再発行の手数料を徴収する。

第13条 参加申込

シリーズ戦各大会への参加申込は、当該大会オーガナイザー宛に行うこと。参加申込期間はオーガナイザーにより異なるが、大会開催日の2ヶ月前を目安に下記連絡先まで大会特別規則書／参加申込書類を請求すること。特別戦については別途公示する。

1. 参加申込方法／各大会特別規則書に準じる。
2. 参加料：¥37,800(消費税込)／1戦(全戦共通)
3. 参加申込時に提出する書類
 - ① 参加申込書
 - ② 公認レース車両申告書
 その他にも、オーガナイザーにより書類提出を求められる場合があるので、各大会特別規則書に従うこと。
4. 参加申込書に記載する車名には必ず「ヴィッツ」または「Vitz」の文字が含まれていなければならない。
5. 大会特別規則書／参加申込書類の問い合わせ先

北海道シリーズ

〒089-1573 北海道河西郡更別村弘和477
 十勝スピードウェイ
 TEL:0155-52-3910

東北シリーズ

<p><第1戦> 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 ツインリンクもてぎ TRMC-S事務局 TEL:0285-64-0200</p>	<p><第2戦／第3戦> 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランドSUGO 菅生スポーツクラブ TEL:0224-83-3111</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

関東シリーズ

<p><第1戦／第3戦／第4戦> 〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694 富士スピードウェイ レース事務局 TEL:0550-78-2340</p>	<p><第2戦> 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 ツインリンクもてぎ TRMC-S事務局 TEL:0285-64-0200</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

関西シリーズ

<第1戦／第3戦> 〒510-0295 三重県鈴鹿市福生町7992 鈴鹿サーキットSMSC事務局 TEL:059-378-3405	<第2戦／第4戦> 〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210 岡山国際サーキット レース事務局 TEL:0868-74-3311
-------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

西日本シリーズ

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
 オートポリス
 TEL:0973-55-1111

6.参加申込期間

【北海道シリーズ】

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	十勝スピードウェイ	4月17日(火)	4月30日(月)
第2戦		7月17日(火)	7月30日(月)
第3戦		8月28日(火)	9月10日(月)

【東北シリーズ】

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	ツインリンクもてぎ	3月16日(金)	3月26日(月)
第2戦	スポーツランドSUGO	4月13日(金)	4月23日(月)
第3戦		7月27日(金)	8月6日(月)

【関東シリーズ】

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	富士スピードウェイ	4月2日(月)	4月9日(月)
第2戦	ツインリンクもてぎ	5月11日(金)	5月21日(月)
第3戦	富士スピードウェイ	6月20日(水)	6月27日(水)
第4戦		9月4日(火)	9月11日(火)

【関西シリーズ】

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	鈴鹿サーキット	2月23日(金)	3月3日(土)
第2戦	岡山国際サーキット	3月18日(日)	3月26日(月)
第3戦	鈴鹿サーキット	5月18日(金)	6月2日(土)
第4戦	岡山国際サーキット	9月7日(金)	9月18日(火)

【西日本シリーズ】

大会	開催場所	受付開始日	受付締切日
第1戦	オートポリス	4月15日(日)	5月7日(月)
第2戦		6月3日(日)	6月25日(月)
第3戦		9月30日(日)	10月22日(月)

第14条 各シリーズ・大会の開催場所・日程、レース距離および決勝出走台数

【北海道シリーズ】

大会	開催場所	大会期間	LAP	レース距離	決勝出走台数
第1戦	十勝スピードウェイ・クラブマンコース	5月20日	12	40.86km	36台
第2戦		8月19日			
第3戦		9月30日	6	20.43km	
			12	40.86km	

【東北シリーズ】

大会	開催場所	大会期間	LAP	レース距離	決勝出走台数	
第1戦	ツインリンクもてぎ	4月15日	8	38.408km	45台	
第2戦	スポーツランドSUGO	5月13日	10	37.04km	45台	
第3戦		①	8月26日	5		18.52km
		②		10		37.04km

【関東シリーズ】

大会	開催場所	大会期間	LAP	レース距離	決勝出走台数
第1戦	富士スピードウェイ	5月3～4日	8	36.504km	54台
第2戦	ツインリンクもてぎ	6月10日	8	38.408km	45台
第3戦	富士スピードウェイ	7月21～22日	8	36.504km	54台
第4戦		10月6～7日			

【関西シリーズ】

大会	開催場所	大会期間	LAP	レース距離	決勝出走台数
第1戦	鈴鹿サーキット	3月17～18日	8	46.456km	48台
第2戦	岡山国際サーキット	4月21～22日	10	37.03km	44台
第3戦	鈴鹿サーキット	6月17日	8	46.456km	48台
第4戦	岡山国際サーキット	10月14日	10	37.03km	44台

【西日本シリーズ】

大会	開催場所	大会期間	LAP	レース距離	決勝出走台数
第1戦	オートポリス	5月27日	9	42.066km	46台
第2戦		7月15日			
第3戦		①	11月11日	5	
	②			9	42.066km

第15条 CVTクラス

- CVT仕様車両の参加申込があった場合、「CVTクラス」を、MT仕様車両との混走で開催する。なお、参加受領後はMT仕様車両／CVT仕様車両を変更することはできない。
- 決勝出走台数を超過する参加申込があった場合、「CVTクラス」の決勝グリッドは、公式予選通過基準タイムを達成することにより優先的に5台まで確保される。
- 賞典・暫定表彰等は、「CVTクラス」の決勝出走台数により制限される。また「CVTクラス」のみを対象としたシリーズポイント制度は設定しない。

第16条 公式予選

- 通過基準タイム
公式予選各組上位3台のベストタイム平均値に130%を乗じたものを公式予選通過基準タイムとする。なお、天候等による不可抗力の場合は、競技会審査委員会の決定によるものとする。
- 組分け方法
①公式予選を2組以上に分けて行う場合、当該シリーズの前大会に出場し決勝およびコンソレーションレースの結果を残したドライバーについては、その結果の上位より、交互に組分けを行う。コンソレーションレース1位は、決勝レースの順位認定を受けた最終者の次順として扱い、それ以外のドライバーについては、ゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。
②シリーズ第1戦の場合は、全ドライバーともゼッケン番号を基に、交互に組分けを行う。
- 組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッドの決定方法
組分けされた場合の決勝グリッドは、各組の予選1位のタイムを比較しより早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。決勝グリッドが各組で均一に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。

4. CVTクラス開催時の諸条件

① 組分け方法

MT仕様車両とCVT仕様車両にドライバーを区分して、「2. 組分け方法」により、MT仕様車両、CVT仕様車両の順に組分けを行う。

② 決勝出走台数を超える参加申込があった場合の予選通過対象

公式予選通過基準タイムを達成した「CVTクラス」ドライバーの公式予選結果上位より最大5台までを決勝グリッド優先確保対象として選出。決勝レース最大出走台数より、それを除いた台数を通過基準とし、その他ドライバーの予選結果順位に照らし合わせ、通過基準を達成したドライバーを選出。

公式予選を組分け開催した場合、公式予選通過基準タイムを達成した「CVTクラス」ドライバーで、速いタイムを記録したドライバーの組より交互に合計最大5台までを選出。決勝レース最大出走台数より、それを除いた台数を通過基準とし、その他ドライバーの予選結果順位を「3. 組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッド決定方法」に照らし合わせ、通過基準を達成したドライバーを選出。

③ 決勝レースのスターティンググリッド決定方法

予選通過基準を達成したドライバーをタイム順に並べてグリッドを構成。公式予選を組分け開催した場合は、各組で予選通過基準を達成したドライバーをタイム順に並べて、「3. 組分けされた場合における決勝レースのスターティンググリッド決定方法」によりグリッドを構成する。

第17条 決勝レース

1. レーススタート方式はグリッドスタートとする。
2. 1大会で決勝レースを2レース(ダブルヘッダー)開催する場合の運用方法
 - ① 公式予選結果を基に1stタイムで第1レースのグリッドを、2ndタイムで第2レースのグリッドを決定するものとする。
 - ② 第1 / 2レースともに、順位・ファステストラップポイントは付与する。
 - ③ ポールポジションポイントは、第1レース決勝グリッドのポールシッターにのみ付与する。

第18条 コンソレーションレース

1. 各大会において、最大決勝出走台数を5台以上、上回る参加台数があった場合、予選不通過車両を対象とした、コンソレーションレースを行う場合がある。その場合、当該大会の参加者に対しスケジュール等は当該大会の公式通知をもって公示する。
2. 予選組分けされた場合のコンソレーションレースのグリッドは、各組の対象となる予選上位者のタイムを比較し、より早い組をポールポジションとし、交互に振り分けを行う。コンソレーションレースがフルグリッドになり各組で均等に割り当てられない場合、最終グリッドは各組の予選タイムで1位と当該順位の予選タイムを比較しタイム差が少ないドライバーに与えられる。

第19条 無線機器

競技車両のドライバーとピットクルー・チームスタッフ間のトランシーバー・携帯電話等を含めた無線機器での通話は禁止される。

第20条 封印エンジン修理禁止および交換申請

エンジンの封印を取り外して行う修理は認められない。また、エンジン本体を破損してしまった場合は封印済みのエンジン本体に交換しなくてはならない。その際はT.R.A.へ連絡をし、T.R.A.レーシングバスポートの更新やエンジン供給または交換の手続きを行わなくてはならない。

第21条 車両、エンジン交換等の禁止

当該大会期間中の下記作業は、いかなる場合も認められない。

1. 車両交換
2. エンジン交換
3. トランスアクスル交換およびトランスアクスルの脱着および本体の分解を伴う作業

第22条 ボディーの修復

1. 競技会参加によりボディーを破損し、T.R.A.より指摘を受けた場合は、次回参加時までに原状回復に努めなければならない。
2. ボディーの修復に関しては、トヨタ自動車株式会社発行の「ボディー修理書」に従い、ボディーの修復を行わなければならない。なお、ボディー交換による修復は認められない。

第23条 タイヤ

1. 公式予選、決勝を通じて使用できるタイヤは4本までに制限され、公式車両検査時に使用するタイヤにマーキングが施される。
2. 公式車両検査時に施されたタイヤのマーキングは、当該大会終了時まで保存しなければならない。なお、大会期間中、当該大会でマーキングされたタイヤの提示を求める場合があり、その場合は指示に従うこと。
3. パースト等、やむを得ない理由の場合のみ、当該大会技術委員長の承認を得られれば1本の交換は認められる。2本以上の交換が必要な場合には、当該大会技術委員長の許可を得た上で、当該大会審査委員会の承認を得ること。2本以上交換した場合、レースのスターティンググリッドの最後尾スタート、もしくはピットスタートとなる。なお、交換の申請は当該大会事務局へ届け出ること。
4. タイヤの裏組み(左右を逆に組み直す)は禁止され、タイヤマーキングは車両外側に向くようにすること。

第24条 燃料

競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF国内競技車両規則第3編第1章第8条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている(潤滑油以外のいかなる添加物も含まない)自動車用無鉛燃料(ガソリン)を使用すること。

第25条 エアバッグコンピューター

公式車両検査開始前までには、下記作業を行っておくこと。また、競技中も常にその状態を維持していなければならない。なお、公道走行チェック時には必ずコネクタを接続しておくこと。

[NCP131-2019922以前の車両]

エアバッグコンピューターコネクタの取外し。

[NCP131-2020188以降の車両]

運転席側エアバッグコネクタの取外し。

助手席側エアバッグコネクタの取外しは可能とするが、任意とする。

第26条 公式車両検査

1. 公式車両検査に合格した車両は、いかなる改造(加工・交換・追加・変更)も認められない。また、使用や事故による摩耗や損傷した部品の交換(修復)は当該大会技術委員長の許可を受けた上で行う事とする。その際、当該車両は再車両検査により承認を得なければならない。
2. 当該大会技術委員長が必要と判断した場合、当該車両に装着した部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならず、これに従わない場合は、失格までの罰則が適用されることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を提供する場合がある。
3. T.R.A.が必要と判断した場合、当該車両に装着された部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならず、これに従わない場合は、T.R.A.より厳しく罰せられることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を提供する場合がある。

第27条 車両検査

T.R.A.が必要と判断した場合、公式車両検査とは別に車両検査を行う場合があり、当該車両に装着された部品の提出を求めることがある。その場合、指示に従って部品を提出しなければならず、これに従わない場合は、T.R.A.より厳しく罰せられることがある。提出された部品は基本的に返却されるが、一部の部品についてはT.R.A.より代替品を提供する場合がある。

第28条 車両保管(車両の場外持ち出しの禁止)

1. 競技車両は、予選・決勝終了後に当該大会競技役員により車両保管される場合がある。その際には、競技参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。
2. 競技車両は、公式車検を受けて以降、レース終了後の公道走行チェックを受けるまで、当該サーキットの場外へ持ち出すことは認められない。
3. 当該大会期間中にリタイヤした場合、リタイヤ届けの受理後に特別に公道走行チェックを受けなければ車両の持ち出しは認められない。

第29条 車両整備

大会期間中に認められる車両整備は以下のとおりとする。

1. エンジンオイル、トランスミッションオイルの点検補充、交換。
2. ブレーキの点検、ブレーキフルード/クラッチフルードの点検補充および交換エアークリーパー作業。
3. 冷却水の点検、クーラントまたは水の補充。
4. バッテリー液量点検、蒸留水の補充。
5. タイヤ、ホイール清掃。
6. タイヤエア圧点検、調整。
7. ホイール取り付け状態の点検、締め付け確認。
8. ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液または水の補充。
9. ガソリン給油。
10. 各種ステッカーの交換。
11. シリンダヘッドカバーを脱着してのローラーロッカーおよびステムキャップシムの点検・修復。ただし、作業を行う場合はT.R.A.に申告すること。
12. 上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃。

ただし、申請により技術委員長が許可した場合はこの限りではない。その際はT.R.A.が指定するリペアエリアにて、T.R.A.スタッフ立ち合いのもと、作業を行うこととする。

第30条 公道走行チェック

1. 全ての参加車両に対して、一般公道における安全な運行が可能であることを確認する為の公道走行チェックが義務付けられる。
2. 公道走行チェックは、当該大会オーガナイザーが指定する時間・場所に於いて、大会競技役員立会のもと、T.R.A.が指定した検査員が実施する。各参加者は検査開始から60分以内にチェック準備を整え、待機エリアに車両を移動しなければならない。なお、車両破損等の影響により移動が出来ない場合は、T.R.A.スタッフに申請をすること。
3. 検査項目(検査箇所)は以下のとおりとする。
 - ① 車体外板
 - ② かじ取り装置
 - ③ 制動装置
 - ④ 走行装置
 - ⑤ 緩衝装置
 - ⑥ 動力伝達装置
 - ⑦ 電気装置
 - ⑧ 原動機
 - ⑨ 排気系
 - ⑩ 灯火装置・方向指示器
 - ⑪ 警告器・窓拭器・洗浄液噴射装置
 - ⑫ 競技走行において異常が認められた箇所
検査内容はJAF指定の「自動車登録番号標付車両によるレース終了後の車両検査票」に従う。ただし、下記検査内容を追加する。
 - ・エアバッグ機能の復元
 - ・最低地上高(9cm以上)

4. 検査の可否と処置

- ① 公道走行チェックにおいて一般公道における運行に不適と判断された車両はT.R.A.が管理し、その指示に従い規定の場所までキャリアカーで移動しなければならない(キャリアカーの手配および費用は当該参加者負担)。規定の場所とは車両所有者または使用者の保管場所、もしくは自動車整備工場とする。
- ② 検査において不具合箇所が指摘された車両は、当該箇所の修理・整備作業が完了していることが分かる書面、資料、写真等が提示されないと、それ以降の本レースへの参加は受理されない。

5. 検査を受けなかった場合

参加車両が本検査を受けなかった場合、その競技成績は抹消され、かつその参加者、ドライバーおよび車両のそれ以降の本レースへの参加は認められない。入賞した車両の競技成績が本項によって抹消された場合その車両の、後順位の車両の順位は繰り上げられない。

第31条 各大会賞典およびシリーズポイント

1. 各大会賞典

- ① 各シリーズ(CVTクラス・コンソレーションレース含む)の大会賞典は下記の通りとする。
 - 1~3位 / トロフィー・JAFメダル
 - 4~6位 / トロフィー
- ② 各大会の賞金、賞典は決勝出走台数により次のように制限される。

3台	4台	5台	6~7台	8台以上
1位のみ	2位まで	3位まで	4位まで	6位まで

2. シリーズポイント(CVTクラス・コンソレーションレース除く)

- ① 各大会ごとに、下記順位ポイントが付与される。

	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
1戦	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

順位ポイントは、当該レース完走者にのみ付与される。

なお完走周回数はトップ車両のレース周回数の70%以上(少数点以下切り捨て)とする。

- ② 順位ポイントの他に、下記各大会ポイントが1ポイントずつ付与される。

- ・決勝レースグリッドポールポジション
(1大会2レース制の場合、第1レースのみ対象)
- ・決勝レースファステストラップ

各大会ポイントは、決勝レースの成立を以て、付与される。

- ③ シリーズポイントは、5台以上決勝出走した場合はフルポイントが付与される。

3. 不可抗力によるレース中止の場合の取扱い

- ① 先頭車両が2周回を完了する前にレースが中止された場合レースは成立せず、各大会ポイントと賞典は与えられない。
- ② 車両が2周回以上を完了し、かつ当初のレース距離未満でレースが中止された場合レースは成立し、各大会ポイントと賞典は全て与えられる。

4. シリーズポイントランキング

最終シリーズランキングを決定する際、シリーズポイント集計は全戦ポイント制とする。同ポイントの場合の順位は上位得点の回数が多い順に決定される。なお、上位得点の回数が同一である場合は最終戦時のポイントで決定され、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時…のポイントによって決定する。なお、シリーズポイントランキングの最終決定は、T.R.A.が行うものとする。

第32条 本規定に記載されていない項目

本規定に記載されていない全ての項目は、各大会の特別規則書および公式通知により示される。なお、本規定の変更や解釈は、T.R.A.ブルテンとしてT.R.A.より公示される。

車両規定 2018

車 両 参加車両はトヨタヴィッツ「RS Racing」(車両型式:NCP131-VPNTMV)および「Vitz GR SPORT「Racing」Package」(車両型式:NCP131-VPNTMV/NCP131-VPNTXV)とし、TRDにより封印が施されたエンジン本体を搭載していること。もしくは、T. R. A. が特別に認めた車両とする。本レースは、2018年JAF国内競技車両規則第3編第7章「スピードB車両規定」に従った車両で行われ、本規定に定められていない項目については、同規則第5章「スピードSA規定」に従っていなくてはならない。また、道路運送車両の保安基準に適合した有効な自動車検査証を有し、競技中においても保安基準に合致する状態でなくてはならない。なお、乗車定員の変更は認められない。

定 義

1. 指定部品:T.R.A.より使用が義務付けられた部品。
指定部品以外の使用は、純正部品も含み認められない。
2. 認定部品:T.R.A.より使用が認められた部品。
認定部品以外に純正部品の使用も認められる。

※T.R.A.が認めた(車両規定およびブルテンに記載されている)場合を除き、指定部品・認定部品に対する加工・変更等の改造は認められない。

第1条 安全規定

改造および付加物の取り付けなどにより当該大会技術委員長が安全でない車両と判断した場合、その指示に従わなければならない。

1. 安全ベルト
 - ①フルハーネスタイプかつ4点式以上のFIA公認安全ベルトの使用を義務付ける。
 - ②ラベルに表示されている使用期限の過ぎたものやストラップ、構成部品等に異常があるものは使用してはならない。また、万一事故によりシートベルトに強い衝撃を受けた場合ストラップ、構成部品等の外観に異常が無くても使用してはならない。
 - ③取り付けに関してはJAF国内競技車両規則第4編付則「ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱」の条件を満たす事。
 - ④4点式以上の安全ベルトは競技中以外の装着は許されない。したがって、それ以外の通常走行時は既設の安全ベルトを装着すること。
2. 消火器
全ての車両に消火器の装着が推奨される。ただし、取り付けの場合はJAF国内競技車両規則第3編第5章第1条1.3に従う事。
3. ロールケージ
T.R.A. 指定部品の使用が義務付けられる。なお、乗員保護の為に頭部等に接触する恐れのあるロールケージの部位は緩衝材で覆われていなくてはならない。
品番:66510-KP300(ロールケージASSY)
品番:66522-NP900(ロールケージパッド)
4. サーキットブレーカー
取り付けは認められない。
5. イグニッションスイッチ
イグニッションスイッチはその位置が確認できるよう黄色で明示しなければならない。
6. 牽引用穴あきブラケット
T.R.A. 指定部品の使用が義務付けられる。ただし、フロント側牽引用穴あきブラケットについては一般公道では使用しないこと。
[車台番号NCP131-2027796以前の車両]
品番:51960-KP300(フロント牽引フック)
51967-KP300(リヤ牽引フック)
[車台番号NCP131-2027852以降の車両]
品番:51961-KP300(シャフトFR)
66311-ZN600(ストラップFR)
90178-TC000(ナットFR)
51967-KP310(フックRR)

第2条 改造規定

1. 車両規定に定められていない項目は当初のままで、変更(取り外し・追加・使用方法等)および加工等の改造は認められない。更に、当規定に定められていない性能の向上を目的としていると判断される部品の装着はその効果の有無を問わず一切許されない。また、車両規定により交換可能な部品は、国内で一般的に市販されているもの(カタログやエビデンス等の提示を求める場合含む)とし、未発売品/試作品等の使用や部品に対する加工等の改造は認められない。
2. 国内で販売されている同一車両型式車種用の純正部品を使用することは許される(輸出仕様車専用部品の使用は許されない)。ただし、ダイアグシステム(故障診断システム)において異常と判断される状態であってはならない。
3. マイナーチェンジ前後車両の部品はT.R.A.より使用許可の公示がない限り許されない。

第3条 エンジン・エンジン補機類

1. エンジン本体
エンジン本体はTRDにより封印されたものを搭載していなくてはならない。また、エンジン本体および封印に対する加工・変更等の改造は許されない。
2. エンジンマウント **[車両型式:NCP131-VPNTMVのみ]**
T.R.A. 認定部品の使用が認められる。
品番:12305-NP900(エンジンマウントRH)
品番:12372-KP300(エンジンマウントLH)
品番:12363-NP900(エンジンマウントRR)
3. フライホイール
加工・変更等の改造は認められない。
4. オイルポンプ
加工・変更等の改造は認められない。
5. オイルフィルター
変更は自由。ただし、取り付け位置の変更は認められない。
6. オイルフ라이어キャップ
変更は自由。

第4条 電気系統

電氣的に、諸装置を 작동・調整する事ができる装置(ECU等全てのコンピューター類のコントローラーを含む)は当初から装着されているものおよび当規定で認められたものを除き装着は許されない。

1. バッテリー
本体の変更は認められるが、本体外寸は当初の物と同等で、取り付けステーにて確実に固定されていなくてはならない。また、搭載位置の変更、ボディーアース線の追加・加工・変更等の改造は認められない。
2. オルタネーター
加工・変更等の改造は認められない。
3. 点火系統
T.R.A. 認定部品の使用が認められる。ただし、使用する4本の点火プラグは同一品番のものでなくてはならない。また、イグニッションコイルは加工・変更等の改造は認められない。
品番:10901-SP060-22(TRDレーシングプラグ) / [FKH01-22](#)
品番:90919-01243(スパークプラグ) / [FK16HR11](#)
品番:90919-01247(スパークプラグ) / [FK20HR11](#)
4. セルモーター
加工・変更等の改造は認められない。
5. ECU
追加および加工・変更等の改造は認められない。
6. 配線
当規定で認められている部品を取り付ける為の最小限の加工以外は認められない。

第5条 吸排気系

1. エアクリーター
加工・変更等の改造は認められない。
2. 吸気・排気マニホールド
加工・変更等の改造は認められない。
3. マフラーおよび排気管
加工・変更等の改造は認められない。

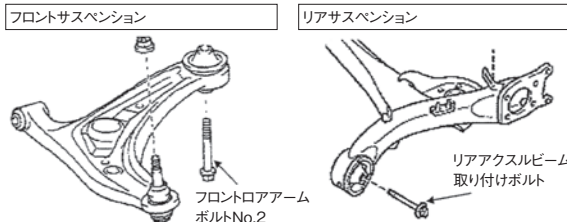
- 4.マフラーサポート
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:17565-NP900(マフラーサポート)
- 5.排出ガス
完全暖機運転後アイドリング状態にて、CO:1%・HC:300ppmを越えないこと。

第6条 冷却系統

- 1.ラジエーター
ラジエーター本体の追加および加工・変更等の改造は認められない。また、導風板やダクトの取り付けも認められない。ただし、ラジエーターキャップは変更が認められる。
- 2.サーモスタット
変更および取り外しは認められる。ただし、取り付け部の加工は認められない。
- 3.ラジエーターファンおよびファンスイッチ
ラジエーターファンおよびファンスイッチの加工・変更・追加等の改造は認められない。
- 4.ラジエーター配管
加工・変更等の改造は認められない。
- 5.オイルクーラー
追加および加工・変更等の改造は認められない。

第7条 シャシー

- 1.最低地上高
最低地上高9cm以上を確保すること。また、以下の二点についても指定の地上高を確保すること。
- ①フロントロアアームボルトNo.2
下端…12.5cm以上
- ②リヤアクスルビーム取り付けボルト
中心部…21.5cm以上
下記イラストを参照すること。



- 2.全長および全幅
変更は認められない。
- 3.最低重量
1020kg
①上記は、燃料、潤滑油、冷却水を含み、ドライバーを除いた車両の最低重量とし、常に保たなければならない。
②バラストの使用は認められない。
- 4.ラバーマウントおよびブッシュ
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:48609-NP900(フロントアッパーサポート)
品番:48755-NP100(リヤアッパーサポート)
品番:48752-NP900(リヤサスペンションサポートストッパー)
品番:48654-NP900(フロントロワアームブッシュ)

第8条 駆動系

- 1.クラッチ【車両型式:NCP131-VPNTMVのみ】
T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:31210-AE100(クラッチカバー)
品番:31250-AE963(クラッチディスク)
品番:31250-NP900(クラッチディスク)
組み合わせについては純正品を含めて自由。
また、クラッチホースについては、ボルトオンにて装着可能なもの限り変更が認められる。

- 2.トランスアクスル
加工・変更等の改造は認められない。ただし、シンクロナイザーリングについては、T.R.A.認定部品の使用が認められる。
品番:33368-20080/33368-20090(サードギヤ・シンクロナイザーリング)
- 3.変速レバー
ボルトオンで装着できるもの限り変更が認められる。
- 4.シフトノブ
変更は自由。ただし、シフトパターンは運転席から容易に識別できるように表示すること。
- 5.ディフレンシャル
当初から装着されているものおよびメーカーオプション品のみ使用が認められるが、それ以外の加工・変更等の改造は一切認められない。
- 6.最終減速比
ファイナルギヤの加工・変更等の改造は認められない。

第9条 制動装置

ボルトオンにて装着可能なブレーキパッド・ホースに限り変更が許される。

第10条 サスペンション

サスペンションおよびその取り付け部位の補強は認められない。

- 1.スプリング
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48131-KP300(フロントスプリング)
補給部品番:48131-KP320
品番:48231-KP300(リヤスプリング)
補給部品番:48231-KP340
- 2.ショックアブソーバー
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48510-KP300(フロントショックアブソーバー-RH)
補給部品番:48510-KP310
品番:48520-KP300(フロントショックアブソーバー-LH)
補給部品番:48520-KP310
品番:48530-KP300(リヤショックアブソーバー)
補給部品番:48530-KP310
- 3.フロントバンブラー
T.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。
品番:48304-WY010(バンブラー)
- 4.スタビライザー
加工・変更等の改造は認められない。
- 5.アームおよびロッド類
T.R.A.認定部品のブッシュ変更は認めるがそれ以外の加工・変更等の改造は一切認められない。

第11条 タイヤおよびホイール

- 1.タイヤサイズ: 195/55R15
- 2.使用するタイヤ銘柄はGOODYEAR EAGLE RS SPORT S-SPEC(品番05608302 / 製造年表記末尾「~4816」以前、もしくは品番05608404 / 製造年表記末尾「~4916」以降)とし、使用するタイヤは全て同品番に限る。
但し、品番05608302の使用期限は、東北シリーズ第3戦(8月26日)までとする。
- 3.タイヤおよびホイールはいかなる場合も他の部分と接触しないこと。
- 4.タイヤおよびホイールは車軸中心より前方30度・後方50度の範囲内でフェンダーから突出していないこと。
- 5.タイヤ中心より両側50mmの範囲内は常にタイヤ溝深さを1.6mm以上有すること。
- 6.通常走行時の摩耗以外のタイヤの加工(削り等)は禁止される。当該大会技術委員長により加工していると判断されるものは使用を認められない。
- 7.ウォームアップ、クールダウン、溶剤塗布等は認められない。
- 8.使用できるホイールは「15インチ / 7.0J(J) インセット48」とする。また、使用するホイールは全て同一のものを使用すること。
- 9.ホイールはスチール製、もしくはJWLまたはVIAマークのある軽合金製とする。
- 10.ホイールナットの材質および形状の変更は認められる。ただし、ホイールディスク面より突出しないこと。
- 11.ホイールスペーサーの使用は認められない。

第12条 車体

- 1.自動車登録番号標
加工・変更等の改造は認められない。
- 2.空力装置
追加は認められない。
- 3.ボンネットおよびトランク
加工・変更等の改造は認められない。
- 4.リヤゲートダンパー
取り外すか、オイルおよびガスを抜く事により作動しないようにしてはならない。
- 5.バンパー
加工・変更等の改造は認められない。
- 6.アウトアミラー
加工・変更等の改造は認められない。
- 7.フロントガラス
 - ①純正品以外でも道路運送車両の保安基準に適合したものの使用を認める。
 - ②保安基準に適合した保護フィルムの使用を認める。ただし、経年劣化等により保安基準を満たしていないと判断された場合は、使用することは出来ない。
- 8.サイドおよびリヤガラス
下記の部品もしくは、道路運送車両の保安基準に合致した無色のサイドガラスおよびリヤガラスを使用すること。また塗装および色付フィルムの貼り付けや、ステッカーの貼り付けはT.R.A.が認めたもの以外は許されない。
品番:68110-52340(フロントドアガラスRH)
品番:68120-52340(フロントドアガラスLH)
品番:68130-52350(リヤドアガラスRH)
品番:68140-52350(リヤドアガラスLH)
品番:68105-52600(バックドアガラス)
- 9.ボディ補強
空洞への充填材注入(当初より充填されている部位を除く)も含み、一切の補強は認められない。
- 10.タワーパー、ブレース
追加および加工・変更等の改造は認められない。
- 11.水ノ泥はねよけ
追加および加工・変更等の改造は認められない。
- 12.エンジンアンダーカバー
追加および加工・変更等の改造は認められない。
- 13.エンブレム
車両前後に取り付けられているエンブレムは、取り外し・加工等の改造は認められない。
- 14.ヘッドランプ
バルブ交換(LEDおよび後付H.I.D.キット含む)および、これの取り付けに伴う最小限の加工のみ認められる。
- 15.フォグランプ
取り外しのみ認められる。ただし、取り外した場合には簡易的ではない方法で蓋をすること。また、蓋はバンパー内側から取り付ける事とし、蓋の取り付けによって空力的性能の向上があってはならない
- 16.グリル
加工・変更等の改造は認められない。
- 17.テールランプ
加工・変更等の改造は認められない。
- 18.カウルトップベンチレーターカバー
フードウールカウルトップシールの取り外しは認められる。
- 19.導通性シート
導通性能を有するフィルムやシート、ステッカー類の追加貼付は認められない。

第13条 車体内部

- 1.内装
当規定で定められている部品の取り付けに伴う最小限の内装切除は認められる。また、グローブボックスおよびアッパーボックス開閉に関する最小限の切除・加工も認められる。それ以外の、当規定で定められていない車室内の全ての部品は切除および加工することは認められない。
- 2.防音材
加工・変更等の改造は認められない。
- 3.ステアリングホイール
加工等の改造は認められない。
- 4.ペダルカバーおよびヒールプレート
装着する事が認められる。ただし、確実に取り付けること。
- 5.フットレスト・ニーレスト
装着する事が認められる。ただし、確実に取り付けること。
- 6.座席
 - ①運転席側シートおよび助手席側シートに限り変更が認められる。変更する場合はJAF国内競技車両規則第3編第5章9条9.4.5の規定と推奨条件を満たすこと。また、後部座席ヘッドレストについては競技中のみ取り外すことが認められる。
 - ②シート/シートレール/シートレールブラケット(サイドステー)は、組み合わせた状態で保安基準に適合していること。また大会期間中に求められた場合は、保安基準に適合していることを証明しなければならない。
- 7.障害者用操作装置
障害者用操作装置を装着する事が出来る。ただし、健常者の使用は認められない。
- 8.ヒーター・エアコン
ヒーターおよびエアコンの取り外しは認められない。また、正常に機能していなくてはならない。
- 9.補助メーター
追加は認められない。
- 10.データロガー
電源を内蔵電池またはシガーライターソケットから取るGPSデータロガーの使用は認められる。なお、車両との結線は、電源目的以外は認められない。
- 11.ラップタイム自動計測装置
ラップタイム計測を目的としたもので、電源を内蔵電池またはシガーライターソケットから取るものに限り取り付けを認める。なお、車両との結線は、電源目的以外は認められない。
- 12.インナーミラー
加工・変更等の改造は認められない。
- 13.フロアマット
専用フロアマットは、取り外さなくてはならない。

第14条 アクセサリー部品

- JAF国内車両規則第4編付則に定められた「アクセサリー等の自動車部品」であっても、下記および当車両規定に定めるもの以外は、取り付け・取外し・変更は認められない。
- 1.取り付け・変更が可能な部品
コーナーセンサー、コーナープロテクター、ドアエッジプロテクター、ナンバーフレーム、サイドバイザー、スカッププレート、警音器、空気清浄機、ナビゲーションシステム、音響/映像機器、盗難警報システム、ETC車載器
 - 2.取外しが可能な部品
アンテナ

第15条 統一解釈

本規定は道路運送車両の保安基準に適合し、出来る限り加工・変更等の改造の範囲を最小限に留めた車両で、平等な条件の下に一人でも多くの人が参加出来ることを目的として作成されたものであり、本規定の解釈に万一疑義が生じた場合は当該大会技術委員長の解釈をもって最終とする。

■Netz Cup Vitz Race 北海道シリーズ

順位	ドライバー	第1戦・十勝 9台	第2戦・十勝 10台	第3戦①・十勝 13台	第3戦②・十勝 13台	合計 ポイント
1	橋本 元	21	1	15	21	58
2	阿部 晃久	16	21	8	8	53
3	三浦 康司	—	—	22	15	37
4	みなびよ	10	15	3	6	34
5	本間 俊介	6	10	4	4	24
6	赤堀 康裕	—	—	10	12	22

■Netz Cup Vitz Race 東北シリーズ

順位	ドライバー	第1戦・もてぎ 13台	第2戦・もてぎ 18台	第3戦①・SUGO 15台	第3戦②・SUGO 15台	合計 ポイント
1	渡辺 圭介	22	15	22	20	79
2	イシカワヨシオ	12	20	15	10	57
3	横田 剛	15	12	12	15	54
4	橋本 元	—	11	8	13	32
5	小森 康廣	—	6	6	8	20
6	阿部 友哉	—	2	10	6	18

■Netz Cup Vitz Race 関東シリーズ

順位	ドライバー	第1戦・富士 48台	第2戦・富士 55台	第3戦・富士 66台	第4戦・富士 52台	合計 ポイント
1	峯 幸弘	16	21	21	13	71
2	北田 和哉	20	13	12	16	61
3	水谷 大介	13	15	11	20	59
4	黒田 保男	8	6	15	10	39
5	デバマン石渡	10	10	8	8	36
6	横田 剛	6	8	4	4	22

■Netz Cup Vitz Race 関西シリーズ

順位	ドライバー	第1戦・岡山 48台	第2戦・岡山 42台	第3戦・鈴鹿 58台	第4戦・鈴鹿	合計 ポイント
1	峯 幸弘	20	22	21	—	63
2	小倉 由浩	16	15	8	—	39
3	黒田 保男	11	6	16	—	33
4	堀内 秀也	8	12	1	—	21
5	今井 孝	6	3	12	—	21
6	岩瀬 亮平	12	0	6	—	18

■Netz Cup Vitz Race 西日本シリーズ

順位	ドライバー	第1戦・オートポリス 18台	第2戦・オートポリス 18台	第3戦①・オートポリス 19台	第3戦②・オートポリス 19台	合計 ポイント
1	三浦 康司	20	22	21	20	83
2	橋本 元	12	8	8	15	43
3	松尾 充晃	—	15	12	10	37
4	小島 史武	10	12	6	6	34
5	渡辺 圭介	—	—	16	13	29
6	羽田 隆一郎	17	0	3	4	24

特別戦 TGR Netz Cup Vitz Race 2017 Grand Final

順位	ドライバー	富士 72台	Total Time (8LAP)
1	峯 幸弘	犬印Nヤサカファクター-Vitz	18' 14.521
2	水谷 大介	ネット東京グイツ	18' 14.945
3	デバマン石渡	N群馬FKジースパイスVitz	18' 15.474
4	北田 和哉	ネット千葉シュボルトVitz	18' 15.520
5	渡辺 圭介	EVOLEXイマージュVitz	18' 15.644
6	橋本 元	ADVICSヤサカVitzとま	18' 15.959

過去のシリーズチャンピオン/特別戦優勝者

型式/年	シリーズ	北海道シリーズ	東北シリーズ	関東シリーズ	関西シリーズ	西日本シリーズ	F1戦	特別戦
SCP10	2000	—	—	村田 信博	—	—	—	—
	2001	—	渋谷 和則	碓井 久彦	井尻 薫	松尾 龍宏	—	—
	2002	舘 彰司	中村 善州	今村 大輔	幸内 秀憲	河元 祐二	—	今村 大輔
	2003	舘 彰司	今野 貴洋	デバマン石渡	森 進	神原 力	—	武田 雄一
	2004	加藤 由紀	小原 健一	松代 耕二	北中 健之	桜谷 孝明	—	中田 寛徳
NCP91	2005	舘 彰司	町田 亜矢	横溝 豪	中田 寛徳	橋本 元	—	中田 寛徳
	2006	舘 彰司	岸野 治男	沖井 宣隆	河村 直樹	神吉 好弘	—	平岡 達
	2007	阿部 晃久	渡邊 照重	デバマン石渡	平岡 達	平岡 達	岸野 治男	小野田貴俊
	2008	舘 彰司	小山 昌子	大西 隆生	小松 高人	堀川 康祐	デバマン石渡	大西 隆生
	2009	阿部 晃久	小山 昌子	松原 亮二	神谷 裕幸	福田 明浩	—	松原 亮二
NCP131	2010	橋本 元	松代 耕二	松原 亮二	河村 直樹	清田 晃治	—	松原 亮二
	2011	結城 正孝	渡辺 圭介	水谷 大介	神谷 裕幸	河村 直樹	—	小山 昌子
	2012	渡辺 圭介	松原 亮二	蓬田 昭男	平岡 塾長	桜谷 孝明	—	平岡 塾長
	2013	橋本 元	イシカワヨシオ	水谷 大介	桜谷 孝明	橋本 元	—	デバマン石渡
	2014	橋本 元	黒須 聡一	蓬田 昭男	峯 幸弘	橋本 元	—	水谷 大介
NCP131	2015	橋本 元	松原 怜史	北田 和哉	峯 幸弘	小島 史武	—	北田 和哉
	2016	橋本 元	渡辺 圭介	峯 幸弘	峯 幸弘	三浦 康司	—	峯 幸弘
	2017	橋本 元	渡辺 圭介	峯 幸弘	峯 幸弘	三浦 康司	—	峯 幸弘

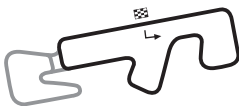
開催サーキット

十勝インターナショナルスピードウェイ

北海道河西郡更別村字弘和477 TEL.0155-52-3910
【コース】クラブマンコース:1周3.40587km/コース幅13.5~15m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	1'35"125	井口 卓人	2016/10/2
	クラブマン	1'37"541	神谷 裕幸	2017/7/29
Vitz(NCP131)		1'44"328	渡辺 圭介	2012/10/21



スポーツランドSUGO

宮城県柴田郡村田町菅生6-1 TEL.0224-83-3111
【コース】フルコース:1周3.704km/コース幅10~12.5m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	1'38"983	谷口 信輝	2017/9/30
	クラブマン	1'41"287	松原 亮二	2016/5/14
Vitz(NCP131)		1'49"027	松原 怜史	2015/10/17

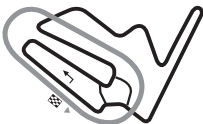


ツインリンクもてぎ

栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 TEL.0285-64-0001
【コース】フルコース:1周4.801km/コース幅12~15m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'17"061	佐々木 雅弘	2017/4/1
	クラブマン	2'19"081	橋本 洋平	2017/4/1
Vitz(NCP131)		2'32"331	北田 和哉	2015/4/12

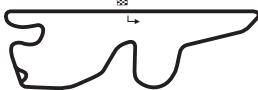


富士スピードウェイ

静岡県駿東郡小山町中日向694 TEL.0550-78-1234
【コース】フルコース:1周4.563km/コース幅15~25m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'03"263	近藤 翼	2017/12/9
	クラブマン	2'04"720	松原 亮二	2017/12/9
Vitz(NCP131)		2'15"333	北田 和哉	2017/12/9



鈴鹿サーキット

三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL.059-378-1111
【コース】フルコース:1周5.807km/コース幅9.2~15m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'30"964	服部 尚貴	2015/11/7
	クラブマン	2'33"984	松原 怜史	2015/11/7
Vitz(NCP131)		2'45"260	黒田 保男	2016/10/30



岡山国際サーキット

岡山県美作市滝宮1210 TEL.0868-74-3311
【コース】フルコース:1周3.703km/コース幅12~15m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	1'50"899	山田 英二	2015/4/25
	クラブマン	1'52"625	小野田 貴俊	2015/4/25
Vitz(NCP131)		2'00"148	小倉 由浩	2017/4/23



オートボリスインターナショナルレーシングコース

大分県日田市上津江町上野田1112-8 TEL.0973-55-1111
【コース】フルコース:1周4.674km/コース幅12~15m

【コースレコード】

86/BRZ	プロフェッショナル	2'11"637	青木 孝行	2017/5/7
	クラブマン	2'13"643	小野田 貴俊	2017/5/7
Vitz(NCP131)		2'24"804	橋本 元	2013/5/5



シリーズ全体に関するお問い合わせ

■トヨタカーズ・レース・アソシエーション(T.R.A.)事務局
〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町2113 103号室
TEL.045-507-4226 FAX.045-507-4225
E-mail : tra.info@tomsspirit.co.jp

TOYOTA GAZOO Racing 公式Webサイト

86/BRZ <http://toyotagazooracing.com/jp/86brz/>
Vitz <http://toyotagazooracing.com/jp/vitz/>

車両に関する技術的なお問い合わせ

■株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
〒222-0002 神奈川県横浜市港北区師岡町800
TEL.045-540-2121
※トヨタテクノクラフト株式会社は、2018年4月1日より社名を変更しました。

モータースポーツ情報ホームページアドレス

TOYOTA GAZOO Racing <http://toyotagazooracing.com/jp/>
日本自動車連盟(JAF) <http://www.jaf.or.jp/msports/>

JAFライセンス、JAF規定などについてのお問い合わせ

■日本自動車連盟(JAF)
モータースポーツ部 TEL.03-3578-4936
北海道本部 モータースポーツ係 TEL.011-857-7155
東北本部 モータースポーツ係 TEL.022-783-2820
関東本部 モータースポーツ係 TEL.03-6833-9140
中部本部 モータースポーツ係 TEL.052-872-3685
関西本部 モータースポーツ係 TEL.072-645-1300
中国本部 モータースポーツ係 TEL.082-272-9967
四国本部 モータースポーツ係 TEL.087-867-8411
九州本部 モータースポーツ係 TEL.092-841-7731



Driving experience

全国のサーキットで開催中!

一流インストラクターのレクチャーによる、スポーツ走行技術を磨きたい方のためのトレーニングプログラム。競技参戦を目指す方にお奨めの本格的レッスンです。

開催日	開催サーキット	PROGRAM 3	PROGRAM 4	お問い合わせ
5月31日(木)	岡山国際サーキット	●	●	0868-74-3311
6月10日(日)	オートボリス	●	—	0973-54-5125
6月14日(木)	富士スピードウェイ	●	●	0550-78-1231
7月30日(月)	スポーツランドSUGO	●	●	0224-83-3790
8月8日(水)	ツインリンクもてぎ	●	●	0285-64-0200
10月23日(火)	鈴鹿サーキット	●	—	059-378-3405
10月30日(火)	筑波サーキット	●	—	0296-44-3146
11月5日(月)	オートボリス	●	—	0973-54-5125
11月19日(月)	富士スピードウェイ	●	—	0550-78-1231

PROGRAM 3 : 本格的なスポーツドライビングレッスン

PROGRAM 4 : レースに特化した参戦者向けレッスン

詳しくは TOYOTA GAZOO Racing
公式ホームページをご覧ください。

<http://toyotagazooracing.com/jp/>